

平成29年9月21日

瀬戸市長 伊藤保徳 様

## 提 言 書

～平成28年度決算審査を踏まえて～

瀬戸市議会では、予算決算委員会において、平成28年度の一般会計、特別会計及び企業会計の全7会計の決算審査を行い、その中で新年度における適切な予算編成や事務事業のあり方の見直しなど議論を重ねてまいりました。

その結果、別紙のとおり取りまとめましたので、ここに提言いたします。

瀬戸市議会

## 【提言事項】

### 1 一般会計に関すること

#### (1) 次世代クリエイター育成事業について

次世代クリエイター育成事業について、事業の目的に“本市における新たな産業の創出”と掲げられている。今後、より事業目的を達成するために、市民ニーズ、効率性、妥当性などを再考し、事業展開を図っていくことを求める。

#### (2) 小中学校施設整備について

施設の老朽化が進む中、長寿命化対策で小中学校の施設整備に取り組まれているが、多少の遅れがみられる。市内全ての学校の公平性を担保するために、計画的に改修・補修工事等を速やかに行っていただきたい。

#### (3) せとまちブランディング推進事業の成果指標について

せとまちブランディング推進事業において、現在は成果指標の設定がされないまま事業が進められている。明確なアウトカム（成果指標）を市民に示す必要があり、早急に成果指標を設定し事業を展開されるよう求める。

(4) アグリカルチャー推進事業について

アグリカルチャー推進事業について、遊休農地の解消を促進し地域農業の振興を図り、併せて、安心安全な地元食材の供給等を目指す地産地消への取り組みを更に推進すべきであり、そのために必要な農業の担い手確保と予算措置を講じられたい。

(5) 道の駅瀬戸しなのについて

道の駅瀬戸しなのは、昨今来場者の減少傾向がみられる。来場者の増加のためには、運営会社と理事者との連携をより密にして、経営体質を強固なものとし、さらなる賑わいの創出に向けて、新たな手法等を検討し魅力づくりを図っていくことを求める。

(6) 瀬戸市の魅力発信事業について

現在、シティプロモーション・観光情報発信・日本遺産関連事業など、瀬戸市の魅力を発信する事業が行われているが、せとまちブランディング推進プロジェクトチームがリーダーシップをとり、各担当課が同様の情報発信（PR）事業を行わないよう横断的な取り組みを図って事業を進めるよう求める。

## 2 介護保険事業特別会計に関すること

### (1) 介護予防・日常生活支援総合事業推進について

介護予防・日常生活支援総合事業推進を効果的かつ円滑に進めていくことは、当局も認めるとおり本市の至上命題といえる。この課題に対応していくためには高齢者及び介護を必要とする人のニーズを的確に捉え地域ごとの実態把握をするよう提言する。

以上